

# コミュニティケア

# 10

2020  
年

月号

Nursing **now**

看護の力で健康な社会を！

Nursing Now は、ナイチンゲール生誕200年を機に、看護職が持つ可能性を最大限に発揮し、人々の健康向上に貢献するために行動する世界的なキャンペーンです。日本看護協会は、日本看護連盟と連携し、「看護の力で健康な社会を！」をテーマに、キャンペーンに取り組んでいます。

## 第1特集 訪問看護と救急医療の連携

### 〈総論〉

訪問看護と救急医療の連携のあり方／箱崎 恵理 ..... 10

### 〈報告1〉

救急搬送までの時間を短縮する2つの取り組み／小林 美香 ..... 14

### 〈報告2〉

退院後の自立生活を見すえて救急時からの連携を／山本 恵子 ..... 17

### 〈報告3〉

利用者の生活観・精神症状までいかに伝えられるかが課題  
佐々木 亮 ..... 20

### 〈関連論考1〉

救急搬送の受け手から見る救急・在宅の連携に対する課題  
梶原 絢子 ..... 23

### 〈関連論考2〉

心肺蘇生を望まない傷病者への救急搬送対応について／鈴木 翔平 ..... 27

## 第2特集 地域共生社会の実現をめざした 訪問看護ステーションの機能強化



35 ページ

### 〈総論〉

訪問看護ステーションに期待される機能強化／岡島 さおり ..... 50

### 〈報告1〉訪問エリアや提供機能の拡大

看多機の併設による訪問看護の強化／櫻井 悦子 ..... 55

### 〈報告2〉保険外サービスの展開

新しい形の住まいの提供／露木 里恵 ..... 58

### 〈報告3〉新たなモデル実践

出向研修事業を通しての機能強化の取り組み／高橋 京子 ..... 61

# コミュニティケア10

2020 October Vol.22, No.11 287号

※本誌では薬品名などの®記号は省略しています。

## COLUMN

### ニュース手帳

株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン Gem Med 編集部 ..... 4

### 地域ケアの今 / 鳥海 房枝

新型コロナウイルスを「安全・安心」とは何かを考える機会に ..... 6

### 訪問看護師の強い味方 / 中富 洋子

佐賀県訪問看護ステーション連絡協議会 ..... 8

### Book Selection

訪問看護に役立つ書籍4選 その2 ..... 65



42ページ

## 特別寄稿

特養あずみの里裁判④ 画期的な無罪判決 / 木嶋 日出夫 ..... 31

## SPECIAL INTERVIEW

『創傷ケアワークブック スキン-ケア / 褥瘡 / 下肢潰瘍』

創傷のアセスメント力&ケア力を高めたい皆さんへ ..... 70

## SERIES

訪問の合間に一句詠んでみる 訪問看護“泣き笑い”川柳 / 川本 雪江 ..... 35

〈新連載〉困難ケースを解決する **スペシャリストの実践知** / 濱戸 真都里

### 緩和ケア①

若年者のがんの苦痛と家族の怒りへの対応

グリーフケアは最初の出会いから始まる ..... 38

だから面白い訪問看護管理 / 柴田 三奈子

新卒採用が経営に与える影響 ..... 42

本人・家族とのかかわりの悩みはコレですっきり! / 木村 藍子・柳原 清子

家族支援CNSが指南するカンファレンスを成功に導く極意

事例カンファレンスは「困り事」の洗い出しから ..... 43

角田直枝の病院と地域を“看護”がつなぐ / 角田 直枝

遠隔会議、やっていますか? ..... 48

アンガーマネジメント / 光前 麻由美

怒りの性質を知って上手に付き合おう! ..... 66

日本訪問看護財団からのお知らせ

相談支援専門員による障がい児者の地域生活支援 ほか ..... 72

全国訪問看護事業協会からのお知らせ

訪問看護講師人材養成研修会受講者の地域での活動 ほか ..... 74

C.C.INFORMATION ● 36 BOOKS ● 76 編集部行き FAX シート ● 77 次号予告 / 編集後記 ● 80

本誌内容の無断複製・転載は著作権法で禁じられています。本誌に掲載された著作物の複製・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込み、および送信（送信可能化権を含む）・上映・譲渡に関する許諾権は、株式会社日本看護協会出版会が保有しています。  
★本誌掲載のURLやQRコードのリンク先は、予告なしに変更・削除される場合があります。

【JCOPY】（出版者著作権管理機構 委託出版物）

本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、その都度事前に一般社団法人出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、email: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

## 〈総論〉

# 訪問看護と救急医療の連携のあり方

訪問看護ステーションと急性期病院・在宅療養支援診療所との連携の実態について事例を基に解説し、課題を整理した上で、急性期病院・在宅療養支援診療所との連携推進に向けて看護師に求められる役割を考察します。

全国の救急搬送件数は年々増加しており、中でも高齢者からの要請が著しく多い状況です。総務省の発表<sup>1)</sup>によると、2018年中の救急出動件数は660万5213件、搬送人員は596万295人となり、前年に比べ3.9%増加し、救急出動件数および搬送人員ともに過去最多となっています。世代別に見ると、高齢者が353万9063人(59.4%)、成人が193万5986人(32.5%)、乳幼児が26万6032人(4.5%)です。

高齢者が急性期病院に救急搬送された後、治療を終えても、その後の療養の場が決まらないためになかなか退院できず、急性期治療が必要なほかの患者を受け入れられないといった問題が起きています。これを解決するには、急性期医療と在宅医療などが連携し、地域包括ケアシステムを構築<sup>2)</sup>する必要があります。

本稿では、看護師の視点で訪問看護と救急医療の連携の実態を紹介し、課題を整理した上で、急性期病院・在宅療養支援診療所との連携推進に向けて看護師に求められる役割を考察します。

## 訪問看護と救急医療の連携の実態

### ●事例紹介

私がこの1年間に経験した訪問看護の利用者の中から4事例を紹介します。

#### 〈事例1〉Aさん／80代男性／膵臓がん／要介護2

Aさんは膵臓がんの末期。糖尿病の管理と疼痛ケアで訪問看護を利用している。ただし、数年前に発症した認知症が徐々に悪化し、現在では生活支援が訪問看護の主な目的となっている。

ある日、Aさんを訪問すると、Aさんの認知症症状が悪化していました。疼痛、または低血糖が関係している可能性があったため、かかりつけ医に相談したところ、電話に出た看護師から「こちらは緩和ケア科なので、認知症には対応できない」と言われ、かかりつけ医の指示を得ることができませんでした。



千葉県看護協会ちば訪問看護ステーション 所長  
救急看護認定看護師／認定看護管理者

箱崎 恵理  
(はこさき へり)

1997年救急看護認定看護師資格、2015年認定看護管理者資格を取得。千葉県病院局に所属し、救急医療、循環器、小児専門病院、地域中核病院を経験。2019年に中途退職し、千葉県看護協会ちば訪問看護ステーションに入職。非常勤職員を経て、2020年4月より現職。

その数日後、Aさんは自宅で転倒して腰椎を  
 圧迫骨折し、かかりつけ医のいる病院に入院。  
 入院中に誤嚥性肺炎で亡くなりました。

#### 〈事例2〉Bさん／40代女性／精神疾患・外傷 性脊椎損傷後遺症／要介護4

10代で精神疾患を発症し、かかりつけ医は  
 大学病院精神科の医師である。数年前より排泄  
 ケアを目的に訪問看護を利用している。

Bさんは精神状態が不安定になると下痢など  
 が出現します。ある日の訪問時にBさんが腹痛  
 を訴えた後に閉眼したまま動かなくなりました。  
 看護師は精神疾患による混迷状態を疑い、  
 大学病院に連絡しましたが、かかりつけ医から  
 は「身体的な問題があれば、診察できない」と  
 言われました。そこで、同院の内科に相談した  
 ところ「精神的な問題があれば診察できない」  
 と告げられました。

Bさんは独居で家族がいないことから、看護  
 師は翌朝まで付き添いました。8時間以上滞在  
 し、無償です。医師からは「無駄な救急搬送は  
 受け入れられない」と忠告されましたが、朝、  
 訪問看護ステーションの判断で同院に救急搬送  
 を依頼し、Bさんは受診。その結果、精神疾患  
 の悪化により1カ月間の入院となりました。

#### 〈事例3〉Cちゃん／8カ月女児／脳腫瘍・難 病

難病で食思が乏しく、経鼻カテーテルによる  
 経管栄養管理と発達支援のために訪問看護を利用  
 している。

緊急時は、24時間365日、小児専門病院の  
 かかりつけ医による対応が可能です。さらに同  
 院の地域連携室の看護師は、地域の窓口として

発達支援に関する情報を提供し、相談を受け付  
 けています。訪問看護指示書には発達支援に関  
 する指示や助言はありませんが、緊急時は看護  
 師に相談できるため心強く、医師にもつないで  
 くれます。

#### 〈事例4〉Dさん／90代女性／パーキンソン病・ 認知症／要介護4

胃瘻管理の必要なDさんは訪問診療や訪問  
 看護、デイケアサービスなどを利用している。

Dさんは嚥下障害が進み、SpO<sub>2</sub>が低下して  
 誤嚥が疑われるようになったことから、かかわ  
 る専門職が定期的にサービス担当者会議を開催  
 し、緊急時の連携方法を話し合ってきました。

Dさんがデイケアサービスの利用中に、呼吸  
 状態が悪化したことから、かかりつけ医と訪問  
 看護師に連絡がありました。Dさんは自宅に戻  
 り、駆けつけたかかりつけ医と訪問看護師が状  
 態を確認し、しばらく様子を見ていましたが、  
 その後、かかりつけ医が在宅療養後方支援病院  
 に連絡し、Dさんは緊急搬送されました。

#### ●救急搬送が困難な利用者は多い

以上の事例から、明らかに救命治療が必要な  
 人であれば病院は受け入れてくれます。しかし、  
 緩和ケアを受けているがん末期の認知症者や身  
 体症状の見られる精神障がい者などのように、  
 受診する診療科が明確でない場合は困難を極め  
 ます。

## 医療機関と在宅療養支援診療所 との連携の実態

私が訪問看護を1年間経験した限り、病床数

好評発売中！  
2020年6月  
臨時増刊号  
訪問看護  
ステーションの  
経営戦略

## 第1特集 職員のメンタルヘルスケア

仕事への強い不安・悩み・ストレスを抱える労働者が増加している中、昨今の新型コロナウイルス感染拡大は、これにさらに拍車をかけることが予測されます。本特集では、訪問看護ステーション・高齢者ケア施設で働く職員が抱えやすいストレスやメンタルヘルス不調者の早期発見・対応方法について解説するとともに、事業主に求められるメンタルヘルスケア、各事業所の支援の実際を報告します。

## Special Feature ナース・プラクティショナー（仮称）制度創設のニーズ

日本看護協会は、訪問看護の利用者や住民のニーズに応えるために看護師に必要な裁量の内容と範囲を明らかにする目的で、2019年に「訪問看護における看護師のケアの判断と実施に関する実態調査」を行いました。Special Featureでは、調査結果と明らかになったニーズについて紹介します。

● コミュニティケア 2020年10月 Vol.22 No.11 287号

### 編集後記

● 2018年公開の大人気アメコミ映画「ブラックパンサー」の主演に抜擢された俳優のチャドウィック・ボーズマンさんが大腸がんのため43歳で亡くなりました。映画の撮影中、自らも闘病中だったにもかかわらず、2人の末期がんの子どもを励まし、また、チャリティ活動にも積極的に参加していました。「危機に面したとき、賢者は橋を架け、愚者は壁を築く」と語ったシーンは一生忘れません。（中島）

● 他県に住む友人と頻りに話せたのはSNSのおかげでした。彼女が病気になり、入院しても、コロナ禍でも好きな時間に会話を楽しむことができました。しかし、2週間ほど前から返事がありません。そんな彼女からやっと着信。ご主人からでした。その後も、彼女のアカウントをとおして伝えられる葬儀の情報。彼女からの連絡なのに誰の話をしているのかが追いつきません。（向山）

● 発行所  
(株)日本看護協会出版会  
東京都渋谷区神宮前 5-8-2  
日本看護協会ビル 4F(本社)  
TEL 0436-23-3271(コールセンター:ご注文)  
郵便振替 00190-8-168557  
東京都文京区関口 2-3-1(編集)  
TEL 03-5319-8019  
<https://www.jnapc.co.jp>

● 発行人 井部俊子  
● 編集長 向山恵美子  
● 編集者 中島祥吾  
● DTP 今村陽子、浜中葉子  
● 編集協力 青木茂美、石川奈々子  
● 発行日 2020年10月1日  
● 定価 本体1,400円＋税  
● 印刷所 図書印刷株式会社

● 編集委員  
岡島さおり、木下朋雄、佐藤美穂子  
椎名美恵子、鳥海房枝、和田洋子  
● アドバイザー委員  
岩本大希、海老根典子、加藤希  
熊谷靖代、塚田桂子、松木満里子  
● 表紙デザイン  
白井新太郎  
● 本文デザイン  
新井田清輝、佐藤忠、paper stone  
齋藤久美子  
● 本文イラスト  
狐丸  
齋藤ひろこ(ヒロヒロスタジオ)  
TOKUDOME

☆編集部へのご連絡は [cc@jnapc.co.jp](mailto:cc@jnapc.co.jp) にいつでもどうぞ！ ご感想をお待ちしております。